

## 旧武毛銀行本店

秩父市下吉田3871-1

県下有数の煉瓦造りによる洋風建築。  
大正7年に建てられ、かつては地域の  
大銀行として多くの人々が利用して  
いました。洋風ではありますが、  
ところどころに和を見いだせます。



### ここに注目！ 3つのポイント



① 折上げ天井  
書院造などで見られる、天井の一部が上  
方へ凹んだ様式。きれいな緑色の布地が、  
いまま鮮やかに残っ  
ています。

### ② 金庫

たてものに入っすぐ目につくのが大きな金庫の扉。この重厚な扉が、利用客のたいせつなお金を守ってきました。



### ③ 瓦葺屋根

少し離れたところから見ると、また新しい発見が！  
日本の瓦葺屋根が取り入れられており、和と洋のコラボレーションを感じられます。前面の白タイルと側面の赤煉瓦にも注目。

### 他にも…

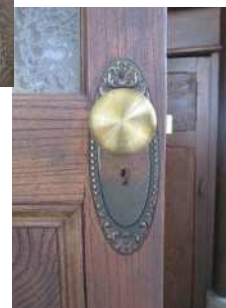


入口の様子。ここで、銀行員と利用客がお金のやりとりをしていたようです。すぐ目に見えるところに金庫があるというのは今では考えられません…

金庫に通じる二つの扉のうち、上の小さい方は予備だと考えられています。

二階へと通じるらせん階段は、下から見上げると迫力があります…！

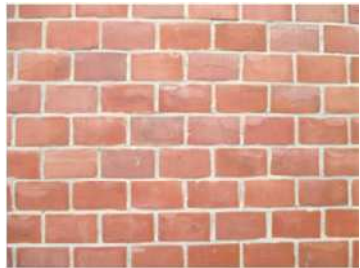
窓から明るい光が差し込み、上り下りの移動にも花を添えます。



扉の、ガラス部分とドアノブの装飾。シンプルでありながらところどころ凝ったつくりでこだわりを感じます。



北側から。配色の  
美しさを感じられ  
る角度です。



近くで見ると、赤レンガの方が劣化が少ない！？  
ただ、白タイルにも味わいがありますね。

正面玄関。  
石造りの入口が、銀行らしい  
重々しさを醸し出しています。

大火が起きた時でも焼けなかつ  
たそうで、頑丈さはお墨付きで  
す。



2015年8月 訪問  
埼玉モダンたてもの学生レポーター  
千葉大学文学部 黒田 翔